

幌延深地層研究計画 平成 25 年度調査研究計画 ～地域の皆様方への説明会～ 質疑応答の概要

- 質問) ① 2月の幌延町と議員への説明の際、地域住民説明会が反対派の決起集会になっているというような指摘があり、機構は「対処する」と回答したと聞いているがその事実確認をしたい。
- ② 説明会会場でのルール説明をされているが、質問者に対して要求する前に機構が真摯に回答すべき。
- ③ 去年の7月の道庁による立ち入り水質分析調査結果が、3/29に幌延センターHPで公表された。公表に247日かかっている。情報公開のやり方が問題。
- ④ 幌延センターHPに2/28に掲載された「北海道からの申し入れに対する機構の報告書」が4/2以降、確認できない。
- 回答) ① 幌延町に対してそのようなことは申し上げた記憶はない。
- ② 私どもは真摯に答えているつもりでいる。
- ③ 幌延センターHPでの公開が遅れたことをお詫びする。
- ④ 更新履歴から追跡できると思うが、確認して対処する。
- 質問) ① 会場が騒がしくなるのは別に構わないと思う。今までそのようなことはなかったのではないか。
- ② 湧水について、当然それなりの対策を施して掘削しているにも関わらず、あのような状態になるようなところでなぜ研究をするのか。
- 回答) ① 一般的にこのような説明会を運営する際の規則を参考にさせていただきルールを作成した。
- ② 地下に坑道を掘削すれば必ず湧水が出てくる。それに対処しながら調査を進めるところに地下研の意義がある。湧水が出たから問題ということではなく、そのような状況に対処できる技術を整備することが重要。今回の知見も我々の研究成果である。
- 質問) ① 機構が2/12と2/14に関係機関に提出した資料に「増水した水を浸出水調整池などに一時貯留した」とある。「など」とは何か。
- ② 2/18に機構が公表した資料「排水量とメタンガスの推移」と、3/12に排水処理施設からの処理後の水を公表したデータで整合しない。汲み上げた水の量は。
- ③ 掘削用ズリピットの集水容量は。
- ④ 排水処理設備の揚水設備側の地下水槽の容量は。
- 回答) ① たとえば、排水処理設備の貯水槽である。
- ② 「排水量とメタンガスの推移」は、坑道内から地上に排水を汲み上げる際の電磁流量計の値をグラフ化したもの。泥水の入った重い水を汲み上げたこともあって、電磁流量計の値にかなりの誤差が出た。
- ③ 立坑3か所にズリを入れるピットがあり、容量は合計で700m³程度。
- ④ 後日回答する。
- 質問) ① 総増水量と排水量の違いの原因である汚泥の量は。
- ② バキュームカーもかなり走っていた。どのくらいの量を運んだのか。

回答) ① 後日回答する。

② バキュームカーは1日2~3台で往復していたが、総量について今は情報がない。

質問) 増水したときに、立坑の機材を引き上げているが、具体的にどういう機材を引き上げてどう対処したか。

回答) 工事で湧水が出た場合に水に浸けてはいけないような機材は移動させたり引き上げたりするが、重機全部まで引き上げることはしていない。

質問) スカフォードの一部も引き上げた。何をひきあげたのか。

回答) 掘削機械の一部を引き上げたと聞いている。

質問) 作業員の避難状況は。

回答) 湧水の増加による避難はしていない。

質問) 2/12と2/14の資料では「最大750 m³を超える排水は浸出水調整池などに一時貯留している」となっており、一方、3/12に公開した排水量では700 m³を超えているのは一度(701 m³)だけ。なぜ浸出水調整池に貯留したのか。

回答) 3/12に公開した排水量は、天塩川への実際の放流量である。坑内から汲み上げた水が天塩川への最大放流量を超える状況が生じたため、浸出水調整池に貯留した。

質問) 「メタンガスって何? どうして地層から出てくるの」に「メタンガス検知器の値が1%を超え、念のために作業員が一時的に避難したことは、5~6回程度発生している。記録は残っていない。退避時間はおよそ10分程度である」と記載があるが、記録が残っていないのに退避時間が10分だとわかるのか。労働安全衛生法で記録を残すと書いていないか。

回答) 労働安全衛生規則上、メタンガスは爆発下限値5%の30%、つまり1.5%で退避となっている。1%というのは自主管理基準として設けた値。

質問) 湧水の件について、説明の度に言い方が変わる。これでは不信が募る。誠実に報告をしてほしい。

回答) 電磁流量計と放流量の数値に誤差が多かったことは、後で気づいた。壁面から出てくる湧水量を直接量る手段がないため、坑内から地上に汲み上げる水量をもって、湧水量の増減の傾向をみていた。それを、そのまま皆さんに公表した。

質問) ① 湧水のごことは詳しく聞きたい。後で文書で提出するので文書で回答が欲しい。

② 前所長は市民団体からの要請による住民説明会はやらないと言い切ったのはなぜか。また、なぜ今回は対応するようになったのか。

③ 施設見学会について、見学者の入坑中に何かのトラブル(ガス、湧水、地震など)が発生した場合どう避難するのか。避難にどれくらいの時間がかかるのか。マニュアルを公開してほしい。

回答) ① 回答する。

② 3.11以降、センターへの関心も高まり、各地からの全ての説明会要請への対応は難しいということもあって、お断りをした。情報公開の精神から出来るだけ対応を図っていきたく、5/20の豊富町民の会には出向かせていただく。

③ 見学者の退避を第一に考えており、見学者がいたときの避難訓練も行っている。

以上